

出題 螢雪ゼミナール

岐阜駅前校・築樋拓真



国語を様々な側面からみて、日本語の面白さや深さを知ってもらえればと思います。

問題【国語】

次の言葉は雨を表す言葉です。それぞれどんな雨なのか説明してみましょう。

- (1) 麦雨(ばくう) (2) 鬼洗い(3) 狐の嫁入り

豆知識 雑学コラム

雨を表す言葉多い日本語

今日のテーマは雨を表す言葉です。

日本は四方を海に囲まれているため、湿った空気が流れやすく、雨が多い国といえます。そんなお国柄もあって、日本語には雨を表す言葉がたくさんあります。ではそんな雨を表す言葉を見ていきましょう。

雨を表す言葉として、この時期、真っ先に思いつく言葉は「梅雨」ですね。今年、例年になく早い梅雨入りで、

いつも以上に雨に悩まされる人も多いかもしれません。そもそも「梅雨」はなぜ「梅の雨」と書くのでしょうか。理由は、この時期が梅の実の収穫時期だからです。農業にとって、雨は非常に大切なものです。そのため、農作物と雨を関連付ける雨の呼び方がたくさんあります。「梅雨」以外にも「麦雨」もその一つで、麦が実る季節で梅雨と同じ6月の雨を表す言葉になります。

梅雨の季節というと「あじさい」を連想しがちですが、「梅」や「麦」もこの時期を象徴するものなのですね。

次に「鬼洗い」です。「鬼洗い」は大みそかの雨を表します。現在2月に行う節分が、旧暦では大みそかのイベントでした。「豆まきで追い出した鬼を洗い流す雨」という意味で、大みそかの雨を「鬼洗い」と呼ぶようになった。「梅雨」のことを「五月雨」と呼ぶことがあります。これも現在の6月が旧暦の5月であることに由来します。このように雨を表す言葉には、旧暦に由来するものもあります。

最後は、「狐の嫁入り」です。これは、太陽が見えて晴れているときの雨のことですね。これは、晴れているのに雨が降るなんて、狐が化けて人をだますためにしているに違いないという

ことが由来だと言われています。また、海外でも晴れているときの雨は奇妙で不吉なものとみなされていて、英語圏では「猿の結婚式」などと呼ぶこともあるようです。

さて、雨の字を使った四字熟語に「晴耕雨読」というものがあります。意味は晴れた日には田畑を耕し、雨の日には家で読書をする悠々自適な生活を送ることという意味です。雨の日が続くと気持ちまで暗くなってしまうかもしれませんが、「晴耕雨読」でその天気合ったことをして、充実した生活ができるとういことです。

【解答】

① 麦雨(ばくう) ② 鬼洗い(3) ③ 狐の嫁入り(1)

④ 梅雨(2) ⑤ 晴耕雨読(1)

⑥ 狐の嫁入り(1)